

政治経済 – 前期期末

資本主義経済を自給自足経済の違いを、具体的に説明しなさい。

→自分が生産したものを自分で消費するのが自給自足経済、商品として利益を得るために他人に売るのが資本主義経済。

利益を上げるためにはどのような商品を生産しなければならないか？

→安価、高品質、大量生産可能

個人企業と共同企業ではどちらが競争に勝つ可能性が高いか？

→個人企業に比べ共同企業は出資者が多く、商品開発費、研究費などに多額の出資金を費やせるので共同企業の方が勝ちやすい。

共同企業が 100 億円の借金を負った場合誰が責任を負うか？

→企業に無限責任社員がいたなら、その人がその借金全てについて例え 1 人になったとしても責任を負う。有限責任社員がいたなら自分の出資した金額を上限として責任を負う。

共同企業といっても最初から巨額の資金を集めることは難しい。無限責任を使用。

→会社が倒産して借金を背負った場合、その全てについて例え一人になっても責任を負う無限責任より信頼できる出資者を選ばなければならいので数百、十人を集めることが困難になり巨額の資金を集めることは難しい。

企業グループの結びつきを説明して、どのような効果を発揮したか説明しなさい。

→企業グループの会社同士で、株を相互持ち合いして、企業グループ以外の会社も個人が干渉できなくなった。なので、企業グループ内だけで会社の経営を進めることができるようになった。

系列の結びつき方、どんな効果。

→親会社が出請け企業の株を買い占め、親会社に思い通り経営できるようになった。これにより、下請け企業が部品を作り、親会社が組み立てるようになった。

社員という用語の 2 つの意味を答えなさい。

→従業員、出資者。

なぜ株式会社は最初からお金を集めることができるのか？

→自分の出資した金額を上限として責任を負う有限責任社員を集め、出資してもらうのでお金を多く集めることができる。

最初から巨額の資金を集める方法を説明しなさい。

→最初から巨額の資金を集めるためには多くの人から資金を集める必要があるが知らない人と共同出資者になるのは信用にかけるので自分が出資した金額を上限として責任を負う有限責任として多くの人から資金を集める。

株主総会における決定方法を説明しなさい。

→持ち株によって票が与えられ、その票を使って多数決。

株主総会を支配する方法を説明しなさい。

→株主総会には出席しない無機能株主は総株式の 1/3 を所有しているので、その半分以上である 1/3 以上を所有すれば株主総会を自由に操れることができる。

基軸通貨の役割を具体例を使って説明しなさい。

→基軸通貨は国と国の貿易の時に金額の仲立ちをしてくれるものであり、1 ドル = 200 円、1 ドル = 20 元とすると日本が中国の物を 40 元分買う時日本が 2 ドルを払えばよい。

インフレーションの意味、またどのようなときに激しく生じるか？

→物価が継続して上がり続けること。政府がお金を大量に印刷したとき。

高度経済成長を可能にした要因とは？

→朝鮮特需による継続的なアメリカからの物資・必需品の注文による。

→安くて質の高い労働力が豊富に存在したこと。

高度経済成長が終わったきっかけとは？

→第一次石油危機による重化学工業製品の値上がりによるダメージ。

なぜ株式会社に出資し、株主になろうとするのか？

→株主は企業の利益を配当として得ることができるから。

→株式を安く買い、高く売るため。

→株主総会へ出席し経営に携わることができるから。

GNP と GDP の違いは？

→GNP(国民総生産)は海外の日本企業が儲けるとそれが反映され、GDP(国内総生産)では反映されないが、外国の企業が国内で儲けるとそれが反映される。

下請け企業を持つことのメリットは？

→親会社は下請けから絞りやすい。良い品質の物を安く仕入れることができる。

下請け企業が親会社に逆らえないのはなぜ？

→親会社に株式を一方的に保有されているから。

戦後、日本は激しいインフレーションに陥ってもなお、お金を発行したのはなぜ？

→戦時中に未払いだったお金（三菱に発注した戦艦武蔵など）を払うためにお金を印刷した。

戦後、日本の経済の調子が良くなかったのはなぜ？

→日本の社会は激しいインフレが続き、また、資材を戦時中に使い果たしてしまい、資源、資金が不足していたため、経済活動が停滞していたから。

経済が成長するとは、何を基準に何によってはかれるのか？

→一年間で商品の売れた代金の合計。

なぜ日本は第二次石油危機を乗り切れたのか？

→第一次産業、第二次産業から第三次産業への産業構造の転換、ソフト化による情報化、加工組立型産業へのシフトができたから。